



No. **53**

30.January.2024

日本ホスピス緩和ケア協会

NEWSLETTER ニューズレター

Hospice Palliative Care Japan

日本ホスピス緩和ケア協会事務局
〒259-0151 神奈川県足柄上郡中井町井ノ口1000-1
日野原記念ピースハウス病院内
TEL 0465-80-1381 FAX 0465-80-1382
Website <https://www.hpcj.org/> E-mail info@hpcj.org

理事長新春メッセージ

多事多難な年明けにあたって 日々の営みこそ大切



特定非営利活動法人
日本ホスピス緩和ケア協会
理事長 志真 泰夫

今年は、多事多難な年明けとなりました。1月1日に「令和6年能登半島地震」が起きて、多数の死傷者と家屋の倒壊が起き、1月2日には羽田空港で日航機と被災地へ支援物資を運ぶ海上保安庁の飛行機が衝突事故を起こす、という大きな事故が立て続けに起きました。地震の多い日本では、近年、阪神淡路大震災（1995年）、東日本大震災（2011年）、熊本地震（2016年）、そして今回の能登半島地震（2024年）と大きな地震災害が次々と頻発しています。

近年、地球の温暖化がもたらす気候危機やそれに伴う自然災害が続く、そして新型コロナウイルス感染症のパンデミックをはじめ様々な感染症の流行、ウクライナやパレスチナ・ガザに見られる戦禍の広がり、それに伴う経済的混乱など、われわれの生活に大きな影響をもたらす危機的な状況が次々と続いています。これらの多事多難は「複合的危機」と呼ばれ、わたしたちホスピス緩和ケアに携わる者も複合的危機と決して無縁ではあり得ません。

このように多事多難で、心落ち着かない状況だからこそ、みなさんには自らの役割と持ち場をあらためて自覚して、しっかりと仕事に励んでください。同時に能登半島の被災地の困難な状況に心を寄せて、それぞれが持ち場でできる支援を呼びかけます。今後、協会としても被災地支援の具体的な取組を検討します。

ジャン・ジオノの短編小説に「木を植えた男」という作品があります。日本ではフレデリック・バックの絵本とアニメで知られています。戦争が起こり、戦火が広がっても木を植え続けた男の話です。荒れ地に森を復活するために、営々と樹を植え続ける、こういう日々の利他の営みこそが大切なのだと思います。

わたしたちは、今、困難な複合的危機の時代を生きています。おそらくこの複合的危機の時代は始まったばかりで、今後、長期にわたって続くかもしれません。そうであるとすれば、わたしたちは、日々携わっているホスピス緩和ケアの仕事に真摯に取り組み、複合的危機を乗り越えるために幾ばくかの貢献をなすことこそが大切なのだと思います。



協会の活動 3本の柱

1 啓発普及活動

10月の「ホスピス緩和ケア週間」を中心に、一般の方や医療福祉関係者を対象に緩和ケアについて理解を深めていただく活動を展開

2 ケアの質の評価と向上

会員施設が提供するケアの実際を調査し、現状を評価する（施設概要調査、自施設評価共有プログラムなど）とともに、ケアの質の向上を目指した管理者セミナー等の開催

3 教育活動

緩和ケア従事者の学習を支援するため、緩和ケアが直面する課題をテーマに取り上げる支部大会の開催、専門職育成のための教育プログラムの企画・運営など

支部主催の教育活動

●支部大会

全国8支部で、毎年、様々なテーマを取り上げ、講演会やシンポジウムを開催しています。コロナ禍では完全オンライン開催でしたが、対面やハイブリットで参加できるプログラムも開催しています。同地域で緩和ケアに取り組む会員同士が交流し、情報交換しながら学びを深める支部大会で、この3年間に取上げたテーマをご報告します。

	2021年度	2022年度	2023年度
北海道	コロナに翻弄された緩和ケア連携～患者さんと家族の想いを繋ぐ～	①ホスピス緩和ケアのころろ ②人生マウスピース ～急性期病院の緩和ケアと臨床～	コロナ禍を経て、緩和ケアはどう変わっていくか
東北	新型コロナウイルス感染拡大における各地の現状報告	①置賜地域における在宅緩和ケアの現状と 三友堂病院の活動について ②山形県の緩和ケアの現状について	東北支部総会・市民公開講座 「今」を生きて～音楽心理療法の現場から
関東甲信越	がんの親をなくす子供のケア	変わらない想い、変化した想い、そして引き継ぎたいこと	無力な私たちに何ができるのか ～スピリチュアルケアについて考える～
東海北陸	(COVID-19感染拡大を受けて中止)	どうするホスピス ～ホスピスとともに歩んだ31年間のふりかえりつづ～	①がん悪液質のステージ診断と栄養マネジメント ②がん悪液質の診断と概念の変遷、緩和医療における現在地
近畿	コロナ禍を経て緩和ケアの本質を考える ～緩和ケア病棟の基準の提案～	やっぱり難しい緩和ケアにどう取り組むか～六甲病院での入院時面談、ACP、鎮痛薬の副作用対策～	コロナ禍を超えての再スタート
中国	「いのち」に向き合う死生学の視点から	在宅緩和ケア～ケアタウン小平チームの取り組み～	(支部総会のみ開催)
四国	コロナ禍における緩和ケア病棟の在り方	すべての対応はアセスメントから！対応困難事例（せん妄、BPSD、発達障害へのアプローチ）	緩和ケアに携わるスタッフの癒し～関わって力を得るケア～
九州	ホスピス・緩和ケアのこれからを考える	緩和ケアの質を支える複眼的視点：生と死、治療とケア、患者と家族、希望と不安、現在と未来、変化と不変	ホスピス緩和ケアのダイバーシティ（多様性）について考える

●ELNEC-J コアカリキュラム 看護師教育プログラム

エンド・オブ・ライフケアの基本的な知識や技術の習得を目的とする本プログラムを支部でも開催しています。2023年度は、関東甲信越支部、九州支部で開催し、修了者には理事長名の修了証を授与しています。

【九州支部ELNEC-J
配信会場の様子▶】



ELNEC-J受講修了者ステップアップセミナー

九州支部では、ELNEC-Jの修了者を対象に、下記のようなテーマを取り上げて開催しています。
・高齢者のエンドオブライフケア
・意思決定支援に必要なコミュニケーション など

●緩和ケア研修交流事業

東北支部では、支部内の会員施設の職員が、他の緩和ケア病棟や緩和ケアチーム、また、在宅緩和ケアの現場で研修できる交流事業を実施しています。参加者は、研修報告書を作成し、支部大会でも体験報告をするなど、支部全体で体験を共有するプログラムです。

本部主催の教育活動

●看護師教育支援



専門的緩和ケア看護師教育プログラム (SPACE-N)

目的：専門的緩和ケアを担う場でリーダーシップを発揮し、意欲的にケアの質の向上に取り組むことができる看護師を育成し、苦や死に向き合っているがん患者・家族を支えるために必要なコンピテンシーの向上を図る

内容：事前自己学習と対話形式のグループワークによる5回コースからなる研修を通して、専門的緩和ケアについて探究し、お互いにエンパワメントしていく

※SPACE-Nは2014年に第1回を開催し、2024年で10周年を迎えます。2024年1月までに、407名が修了しています。修了者を対象にフォローアップ研修会も開催しています。

専門的緩和ケアに従事する看護師の臨床的リーダー (SPACE-N 3ステップリーダー)

目的：「専門的緩和ケアに従事する看護師の能力」について自己評価し、その結果を可視化することで、個々の看護師および看護チームの現状認識や教育プログラムに活用（対象はELNEC-J 修了者を想定）

内容：各項目を達成することの難易度別に、3ステップに分類された110項目で構成されており、自己評価の結果を視覚化（マップ化）して眺めることができる

【掲載ページ】：https://www.hpcj.org/med/ed_pro.html

ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム

目的：エンド・オブ・ライフ・ケアや緩和ケアを提供する看護師に必須とされる能力の修得
内容：症状マネジメントや臨死期のケアなど10のモジュールで構成されており、グループワークやロールプレイなどを通して学び、実践に活かすことができる

SPACE-N

専門的緩和ケアを担う看護師に必要な知識・技術・態度の習得

3ステップリーダー

専門的緩和ケアに従事する看護師の能力の可視化

ELNEC-J

基本的な緩和ケアやエンドオブライフケアについての知識・技術の習得

看護師教育プログラム



▲2019年度SPACE-N修了者フォローアップ研修会

●MSW教育支援

MSW 対象のセミナーをオンラインで開催しています。

【テーマ】

2022年：「コロナ禍におけるソーシャルワークの現状とチャレンジ」

2023年：「当事者主体のチームビルディング Part1～チームにおけるMSWの活動の実践と可能性～」

「当事者主体のチームビルディング Part2～身寄りのない患者への支援から考える～」

【参加者数】

2022年度：44名

2023年度：Part 1 …40名・Part 2 …29名

【参考：終了後アンケートより参加者の声】

- ・普段の自分の業務がチームビルディングに繋がっているという視点で考えたことがなかったので、勉強になりました。
- ・どうもうまく関わっていないといった不全感が勝っていた状況を少しチャレンジングに捉えられるようになったと思います。
- ・グループワークで他の参加者の現状や課題や希望を伺うことで、自分自身の実践に活かしたい多くのヒントをいただきました。



●多職種教育支援

2022年度に多職種教育プログラム作成ワーキンググループが発足いたしました。現在、プログラムを検討中です。

2023年度 ホスピス緩和ケア週間 2023.10.8[sun] - 14[sat]

日本ホスピス緩和ケア協会では、毎年10月、日本緩和医療学会・日本死の臨床研究会の3団体と共催で「世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）」を最終日とした一週間（2023年度は10月 8日～14日）を「ホスピス緩和ケア週間」とし、緩和ケアの啓発普及活動に取り組んでいます。

第18回目となる本年も、引き続き動画による啓発普及活動を行うこととし、今年度のテーマ「緩和ケアとともに思いやりのある地域社会を創る」に関連した活動の動画や、ホスピス緩和ケアをテーマにした動画を募集したところ、全国各地の施設・団体より、パネル展示や講演会の様子、コンサート（Voices for Hospice）、地域のがん体験者や住民を対象とした活動の紹介など、24の動画が寄せられました。今回は例年のような活動紹介の動画に加え、病院ロビーでの演奏会やミニレクチャーなど対面のイベントを開催し、その様子を撮影した動画の登録も複数ありました。動画は YouTube「ホスピス緩和ケア週間チャンネル」で視聴いただけます。ご参加いただいた皆様に厚くお礼申し上げます。



紹介動画は会員名簿からリンクします！

一般の方や利用者への情報提供を目的として、2020年～2023年にホスピス緩和ケア週間にご登録いただいた正会員施設の紹介動画で、リンクの了承を得られた動画については、協会ウェブサイトの会員名簿からリンクします。

正会員の皆様は、一般の方に向けた緩和ケア病棟の紹介や活動の実際を紹介する動画の作成、登録をぜひご検討ください。



2024年度 世界ホスピス緩和ケアデー & ホスピス緩和ケア週間

2024年度の「ホスピス緩和ケア週間」は、「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした、10月 6日(日)～12日(土)の一週間を予定しています。詳細については、8月頃にご案内いたしますが、皆様には引き続き「ホスピス緩和ケア週間」を通じた啓発・普及活動にご協力下さいますよう、お願い申し上げます。

世界のホスピス緩和ケアデー

2023年度の世界ホスピス緩和ケアデー（World Hospice and Palliative Care Day）は、「Compassionate Communities : Together for Palliative Care」をテーマとして実施され、オンラインでのイベントの他、対面のイベントも多数開催されました。アジア太平洋地域で開催されたイベントの一部をご紹介します。

- ・韓国：ホスピスの日式典の開催、朝のウォーキング企画
- ・台湾：「アルツハイマー病と認知症のホスピスケア」が主題のチャットルーム開設
- ・フィリピン：ズンバによる募金活動と啓発キャンペーン、患者と家族を対象としたフォーラムの開催
- ・マレーシア：緩和ケアデーフォーラムの開催、ケア提供者の知識と経験を共有するイベントを植物園で開催
- ・インド：看護補助者による街頭劇、医療系の学生と市民を対象としたパネル展示、高校生への緩和ケア啓発講演会
- ・オーストラリア：ホスピスでのコミュニティ追悼式、ボランティアサポートサービスの説明会開催 等

各国の企画の様子はホームページでご覧いただけます。

【<http://www.thewhpc.org/world-hospice-and-palliative-care-day>】



COMPASSIONATE COMMUNITIES
Together for Palliative Care
14 OCTOBER 2023
WORLD HOSPICE & PALLIATIVE CARE DAY

第41回理事会報告

開催日：2023年12月2日(土)

開催方法：オンライン(ZOOM)

議題：1. 会員の入退会について

2. 2023年度事業の進捗状況

3. 2024年度役員改選と今後の協会活動

1) 支部推薦理事

2) 理事会推薦理事

4. 2024年度、2025年度総会の持ち方

5. その他

1) 2024年度の予定

2) 年会費について

3) 厚労科研「緩和ケアチーム等により

提供される専門的な緩和ケアの質の

評価に資する研究」について

総会・年次大会

昨年 総会後のアンケート結果にて「移動時間などがなく効率的」「旅費がかからない」「どこにいても参加ができる」などから、約7割が「オンライン開催が良い」という回答であったことを受けて、引き続き総会はオンライン開催とし、年次大会の中で開催していた分科会や特別セミナーは、各専門委員会主催のオンラインセミナーとして年間を通して開催していくこととなりました。

【総会】

日程：2024年7月20日(土) 午前
オンライン開催 [Zoom]

※詳細は4月に案内予定

ご遺族の声を今後のケアに生かしませんか？

インターネット遺族調査にご参加ください

インターネット遺族調査は、患者さんがお亡くなりになるまでの1ヶ月間に受けたケアに関するご遺族の評価を直接受け取ることができる調査システムです。2024年1月現在、正会員164施設(緩和ケア病棟152、緩和ケアチーム・一般病棟4、診療所等8)にご参加いただき、7,500名を超えるご遺族から回答をいただきました。本遺族調査システムのご利用には、事前にお申し込みが必要です。日本ホスピス緩和ケア協会の正会員であれば無料でご利用いただけますので、是非協会の会員専用ページから参加をお申込みください。

①Excelで対象者を一括登録

病院でお持ちのデータを利用して、対象者を一括で登録できます。お一人ずつを個別登録することも可能です。



②ご遺族への依頼状は自動で発行

出力したい対象者に☑を入れ「印刷」ボタンをクリックすれば、個別のパスワードが入った依頼状が自動で出力されます。



③あとはご遺族へ郵送・手渡し

各施設で依頼状をご遺族へ郵送、または手渡しします。ご遺族は依頼状を受け取り次第、インターネットから回答することができます。



調査結果はリアルタイムで自動集計されます

調査結果は自動的にグラフ化され、いつでもインターネットの画面で見ることができます。また、ご遺族が意見や感想を自由に書き込める欄を設けていますので、生の声を受け取ることができます。以下のように活用することも可能です。

☑ 期間を区切って自動集計し、年度毎の変化を見る
質の評価やケアの改善などを検討したいタイミングで調査結果を集計できます

☑ 全国の参加施設の平均と自施設の結果を比較する
全国値との比較が自動で出力されます

☑ 研究発表に利用する
自施設の結果を詳細に分析する場合は、事務局を通じてデータ提供が可能です



利用の申し込み・より詳しい内容については
会員専用ページをご覧ください[要パスワード]



事務局通信

2023年7月の総会以降、下記の通り入会がありましたので、ご報告致します。

★緩和ケア病棟入院料届出受理施設

☆緩和ケア診療加算届出受理施設

○一般病院 / ◎診療所

【正会員：新入会】

★市立秋田総合病院 (秋田県秋田市)

★新横浜リハビリテーション病院 (神奈川県横浜市)

★長崎原爆病院 (長崎県長崎市)

★二日市那珂川病院 (福岡県筑紫野市)

○大森赤十字病院 (東京都大田区)

◎けいわ緩和ケアクリニック (大分県大分市)

◎ペテル在宅診療部 (愛媛県松山市)

【準会員法人：新入会】

・大阪歯科大学医療イノベーション研究推進機構 事業化研究推進センター 地域医療等連携部門 (大阪府枚方市)

・介護ライフアドバイザー協会 (東京都世田谷区)

・小松市民病院 (石川県小松市)

・恵佑会第2病院 (北海道札幌市)

・opsol株式会社 (三重県伊勢市)

【準会員個人：新入会】

鈴木 征浩 (三重県伊勢市)

廣瀬 里奈 (岐阜県揖斐郡)

増田 友美 (静岡県静岡市)

辻本 朗子 (北海道札幌市)

【賛助会員：新入会】

ホームサーチ (東京都世田谷区)

調査ご協力をお願い

2024年1月～4月に、下記の調査を実施いたします。ご協力賜りますようお願い申し上げます。

◆1月

○自施設評価共有プログラム実施後アンケート

対象：正会員 緩和ケア病棟

回答期限：2024年2月16日(金)

◆4月

○施設概要・利用状況調査

対象：正会員

回答期限：2024年4月末頃(予定)

緩和ケア病棟の2023年度入退院患者データを集計するためのエクセルのフォーマットを下記のページで配布しておりますので、ご利用ください。

<https://www.hpcj.org/khb/pcudata.html>

施設概要・利用状況調査の結果を公開

2023年4月に実施した施設概要・利用状況調査の結果がまとまり、協会の会員専用ページに公開いたしました。

ご寄付について

当協会では、事業に賛同し応援して下さい個人や団体からのご寄付を受け付けており、前回報告以降、下記の方々よりご寄付をいただきました。ご厚情に心よりお礼申し上げます。

田中 巖様(東京都) 榎本香咲花様(神奈川県)

原 知克様(東京都) 吉田 秀一様(神奈川県)



ご寄付の方法につきましては、協会事務局までメールまたはお電話でお問い合わせ下さい。関係資料をお送りいたします。

【直接お振込みいただく場合、振込先は下記の通りです】

三菱UFJ銀行 新富町支店

口座：普通預金 3677396

名義：日本ホスピス緩和ケア協会 理事長 志真泰夫

会員動向

2024年1月1日現在

地域別	正会員		準会員		賛助会員		合計
	病棟	チーム	一般病院	診療所	法人	個人	
北海道	21	4	0	7	4	8	48
東北	25	1	2	9	3	2	43
関東甲信越	104	19	7	30	10	33	215
東海北陸	43	3	4	9	2	11	74
近畿	63	5	0	11	4	20	106
中国	33	0	3	2	2	4	44
四国	19	2	3	2	1	2	30
九州	82	3	0	18	4	12	120
合計	390	37	19	88	30	92	680
	534		122		24		

協会では定期的に、各厚生局の公開情報を元に、緩和ケア関連の施設基準を届け出ている施設の把握に努めておりますが、年度途中で新たに施設基準を届け出された施設、移転、運営法人の変更などがあった施設は、事務局へご連絡下さい。